

# 大阪府内の水ナス・イチゴ・ブドウ農家を対象とした栽培環境モニタリング

食と農の研究部 園芸・葡萄グループ

## ■背景と目的

大阪府内の農家へ栽培環境モニタリング装置を導入し、篤農家と自らの栽培環境を比較できる機器を整え、「知る」→「考える」を実践します。また、栽培環境データを基にした普及指導により、省力的な生産環境の整備の啓発や担い手の効率的な育成を行い、各品目の産地強化を目指します。

### 大阪のスマート農業で目指すデータを活用した産地強化

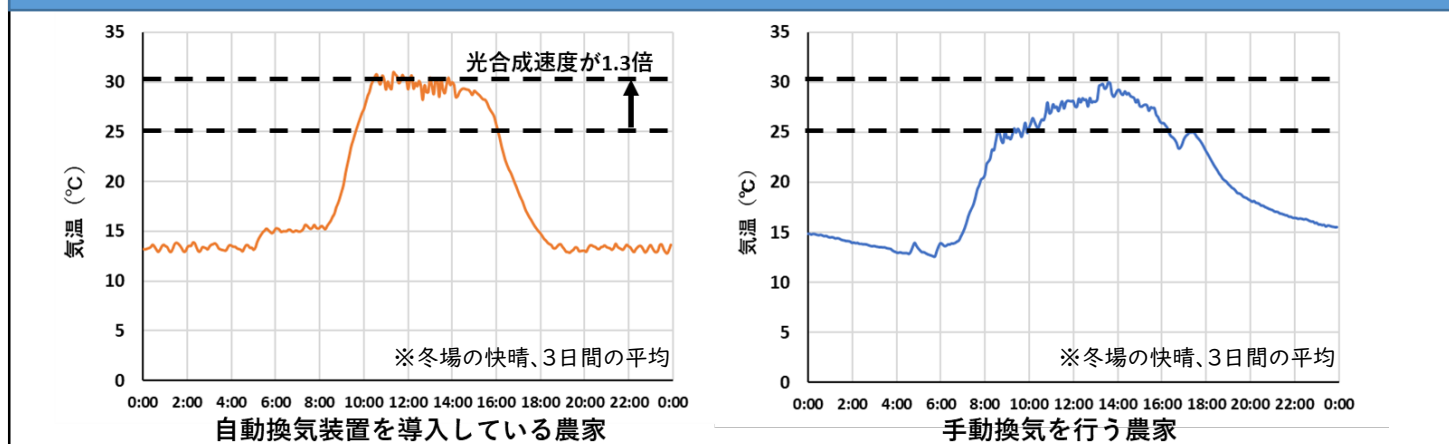


## ■事業の内容

環境制御装置の導入程度異なる水ナス農家12件(泉州地域)を対象に、栽培環境モニタリングを実施しています。栽培環境モニタリングでは、「栽培環境・生育・収量」を大阪府農と緑の総合事務所と連携して取得し、それらデータを環農水研で解析した後、現地検討会等で、それら結果の情報還元を行い、各環境制御装置の普及啓発、栽培管理の助言等を行っています。

※2021年9月より、イチゴ農家7件、2022年5月より、ブドウ農家10件の栽培環境モニタリングを開始。

### 栽培環境モニタリングで見えてきた農家の栽培環境(施設内の気温)の違い



## ■今後の方向性

- ・栽培環境データを取得する農家を増やす(裾野を広げる活動)  
環境計測機器のDIY講義や計測機器を紹介する活動
- ・栽培環境データに加え、収量や生育データを収集する仕組みを提供  
普及機関、農家と連携したスマートデバイスの開発
- ・収集データの研究利用  
現地ほ場から取得するデータを課題解決の基礎データとして活用



栽培環境・生育・収量の結果に基づき検討会を開催